

目的:院内へのNST活動の啓蒙

内容:NSTの活動報告
スタッフに知ってほしい情報など

方法:毎月1回10日頃 M-ネットにて配信
A4 1~2枚程度
トピックスはNSTスタッフを中心に担当制とする

☆原稿担当となった部署は、毎月末までに栄養科 戸崎まで
FD、メモリースティックなど電子媒体で提出ください。

	チーム	担当部署
7月	栄養評価	棚橋先生
8月	静脈栄養	
9月	嚥下評価	
10月	栄養評価	
11月	静脈栄養	
12月	嚥下評価	
1月	栄養評価	
2月	静脈栄養	
3月	嚥下評価	

院内でのNST活動の報告や栄養管理に関するトピックスなどをお知らせします。

こんにちは。内科の棚橋です。

突然ですが、みなさんNSTをご存知ですか？「名前は知っているけど具体的な活動内容はわからない…」という意見が大半だと思います。私自身NST活動の認知度（存在意義？）がまだまだ低いことを痛感しています。そこで（今とっても地味な）NSTのことを少しでも多くのみなさんに知ってもらえるように定期的に【NST news】を発信することにしました。

まず最初に当院規約からNST設立の目的をご提示します。

[NST設立の目的は、入院早期から栄養アセスメントを行なって患者の栄養状態を把握し、その中で特に栄養管理が必要な患者に対して適切なエネルギー必要量や投与方法（経口・経腸・静脈栄養）などを検討して主治医に伝えることによって、合理的で効率的な治療を目指す。]

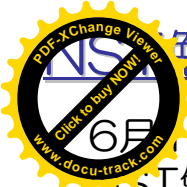
[すなわち、すべての患者の治療法の基盤となる栄養管理を徹底することによって患者予後を改善させると同時に、在院日数の短縮等によって医療経済的な効果を期待する]

さて、第一回目の今回は、急速に進むNST専門教育についてお話しします。おそらく医療現場で長く活躍されている人ほど、栄養学の知識あるいは栄養学についてしっかりとした教育を受けた記憶に乏しいのではないかと思います。

日本静脈経腸栄養学会は、近年急速に膨れ上がった会員（H19.12月時点で正会員10381名）に対する専門知識の強化を進め、医師向けのTNT（Total Nutritional Therapy）研修会、コ・メディカル向けの教育セミナーを行い、また数年前からはNST専門療法士（NST認定教育施設指導医・NST専門栄養士・NST専門薬剤師・NST看護師・NST専門臨床検査技師など）の認定制度がはじまり、その更新セミナーが全国各地で催されています。

将来、専門療法士の職種特異性が重要となる時代が必ずやってきます。みなさん、それぞれの職種で力を発揮してみませんか（詳しくはJSPENホームページまで）。ご意見・ご感想お待ちしております。





勉強会の報告



6月11日（水）17：00～当院3階講堂にて

NST勉強会を開催しました。

今回のテーマは「栄養評価について」
で、入院時スクリーニングの方法や、
栄養アセスメントの基本について勉強
しました。（参加者43名）



要旨

- ・ 栄養アセスメントはNSTの基本
 栄養管理のゴールは経口摂取。
 ゴールにいたるために栄養状態を常にアセスメントしながら、
 患者にとって最適な栄養管理方法を選択する。
- ・ 入院時スクリーニングで栄養管理を行うかどうかを決める
 スクリーニングにはSGA（主観的包括的アセスメント）が
 優れている。
 SGAとは見た目で見極める栄養評価。

第3回岐阜南NST研究会のお知らせ

8月28日（木）18:00～ 当院3階講堂にて開催予定です。

*詳細は後日お知らせいたします。

トピックス

誰でもできる栄養評価－SGA－

1.問診による調査を行う

- a.体重の変化をチェック
- b.食物摂取状態の変化をチェック
- c.消化器症状をチェック
- d.身体機能状態をチェック
- e.疾患と栄養必要量をチェック

2.身体所見のスコアによる評価を行う

皮下脂肪、筋肉萎縮、下腿、仙骨の浮腫、腹水

3.主観的包括的評価を行う

1、2の項目から判断した栄養状態の評価を主観的に行う。